

ニホンチビマメコメツキの形態について

大平仁夫

〒444-35 岡崎市舞木町狐山 6-4

白石正人

〒794 今治市米屋町 4 丁目 2-20

Notes on the Morphological Structure of *Quasimus japonicus*
(Coleoptera, Elateridae) from Japan

Hitoo ÔHIRA

Kitsuneyama 6-4, Maigi-chô, Okazaki, 444-35 Japan

and

Masato SHIRAISHI

2-20 Komeya-chô 4, Imabari, Shikoku, 794 Japan

Abstract *Quasimus japonicus* KISHII, 1959, has been found widely on the leaves of various broadleaved trees in mountain areas of Honshu, Shikoku and Kyushu from May to June, and also appears from September to October. General structure of this small species (length about 2–2.5 mm) examined by SEM-images (Fig. 1) is described for facilitating recognition of its systematic status in the genus *Quasimus* of the Negastriinae from Japan.

ニホンチビマメコメツキ *Quasimus japonicus* KISHII, 1959 は、日本に分布する本属の代表的な種で、本州、四国、九州、対馬、五島列島の各地の山地の広葉樹林に生息するが、小型種であるために、詳しい形態や生態がまだよくわかっていない。この度、筆者の一人である白石は、愛媛県玉川町の楢原山（標高 1,042 m）において本種を数多く採集、若干の生態も観察できたのでここに報告する。

生態について

本種の成虫は、一般にコナラやアベマキなどの落葉広葉樹林の葉上で見出されているが、馬場 (1981) によれば、「新潟県では出現は 4 月 23 日から 9 月 7 日までで、山地種のように落葉樹を打網して得られる」と記されている。本種は春から初夏にかけて出現するが、夏期以降はもう見られなくなると思われていた。しかし、楢原山での観察では、5 月下旬ごろから 6 月にかけて成虫が出現し、夏期には見出されなくなるが、9 月から 10 月にかけてふたたび成虫がよく出現している。もっ

とも個体数が多いのは9月で、10月でも見出され、1992年でもっともおそく得られたのは11月3日であった。このうち、10月に採集された20個体を分解して雌雄を調査したが、うち13個体は雄であった。

楡原山で打網採集によってよく落ちてくるのは、山道の日当たりのよい場所に生えているヒメウツギ、ヤブウツギなどのウツギ類、クマイチゴ、キイチゴなどのキイチゴ類、ほかにシロモジ、タラノキなどの幼木であった。また、10月10日に、広葉樹の枯木の樹皮下で3頭が集まって入っているのを見出している。そのときの気温は7°Cであった。

このように、楡原山での観察から推察すると、本種の成虫は年2回出現する。第1回目は春から初夏にかけて現われる個体で、第2回目は秋に現われる個体である。春から初夏にかけて現われる個体は、おそらく前年からの越冬個体であり、秋に現われるのは夏期に新成虫になった個体で、冬期はおそらく落葉中などで越冬のではないかと思われる。

成虫の一般形態

雄. 体長は2~2.5mm。体は楕円形で、後方より強く細まる。黒色で光沢を有し、全面に淡黄灰色毛を生ずる。触角は黒色、肢は黒色~黒褐色を呈する。

頭部の前頭部は弱く膨隆し、小型の点刻をいちようにやや密に分布する。前頭横隆線は明瞭に縁取られ、前縁中央部は鈍く角ばる (Fig. 1 D)。触角は短く、末端は前胸背板の後角よりわずかに短い (Fig. 1 A)。第2節は円筒状で、第3節は第2節よりわずかに短く、第4節は第3節の約1.4倍の長さである (Fig. 1 I)。

前胸背板は矩形状で長さより幅広く、両側は中央部で外方に湾曲、後角やや前で内方へ顕著に湾曲する (Fig. 1 A の \textbackslash 印)。背面は膨隆し、全面に小点刻をいちように分布、点刻と点刻のあいだの表皮面は平滑である。また、点刻は頭部のものより小型で、よりまばらに印刻される。後角は後外方へ突出するが、末端部はやや内方へ湾曲して尖る (Fig. 1 H)。小盾板は幅よりやや長く、末端は鈍く尖る。また、表面のリング状の隆線は後方にやや幅広くなる (Fig. 1 G)。前胸腹板突起は短大で、前肢基節腔を越えて後方へ直線状に伸長、末端近くで顕著にくびれ、末端は鈍く尖る (Fig. 1 E)。後胸腹板上に生ずる後胸腹板線は三角状を呈し、通常は末端は鈍くとがるか円まるが、ときに末端部で分離するものもあって変異がみられる。ここでは末端部が鈍く尖る型 (Fig. 1 C) と円まる型 (Fig. 1 B) を図示した。

交尾器の腹面からみた外形は図示したとおりで、中央突起は末端に向かって弱く湾曲しながら漸次細まり、末端は鋭く尖る (Fig. 1 K)。側突起の両側は平行であるが、外縁部は末端近くで湾曲して細まる (Fig. 1 L)。

雌. 外形は雄に類似するが、体はより幅広い楕円形を呈する。触角はより短く、第4節は第3節の約1.3倍の長さである。

調査標本: 愛媛県玉川町楡原山, 4 exs., 29-V-1988; 同上, 7 exs., 5-VI-1988; 同上, 8 exs., 12-VI-1988; 同上, 4 exs., 30-VIII-1992; 同上, 30 exs., 27-IX-1992; 同上, 30 exs., 4~5-X-1992; 同上, 20 exs., 10~11-X-1992; 同上, 7 exs., 18-X-1992; 同上, 5 exs., 25-X-1992; 同上, 2 exs., 1-XI-1992; 同上, 1 ex., 3-XI-1992, 白石正人採集。

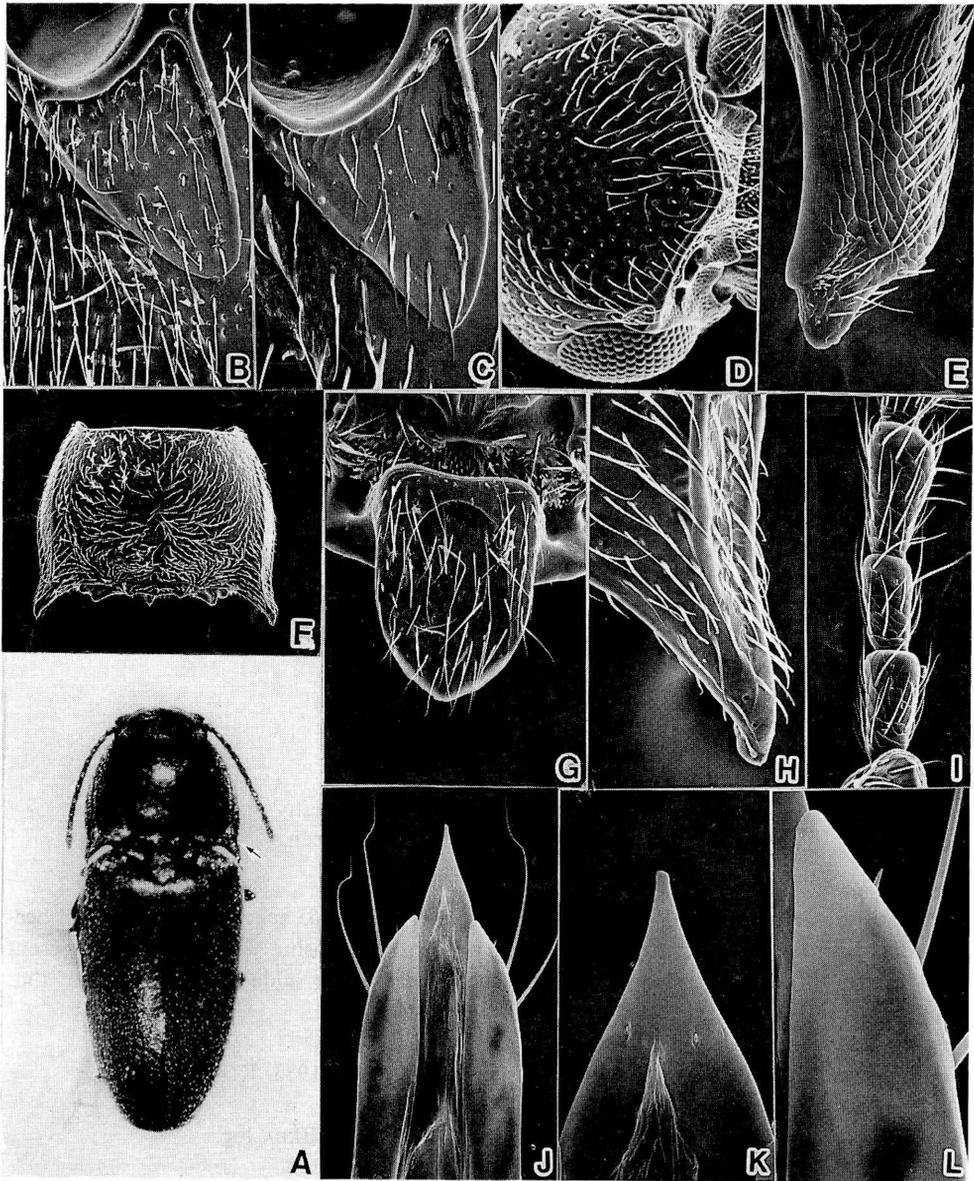


Fig. 1. *Quasimus japonicus* KISHII, 1959, male (Mt. Narahara-yama in Ehime Pref., Shikoku). — A, Adult (length 2.5 mm); B-C, metasternal carinae; D, head and clypeal margin; E, prosternal process; F, pronotum; G, scutellum; H, right hind angle of pronotum; I, 2nd to 4th segments of antenna; J, aedeagus, ventral aspect; K, same, median lobe (enlarged); L, same, lateral lobe (enlarged).

そ の 他

本種は、前述のように分布は広いが、地域により個体変異が若干みられるようで、体毛も灰白色から淡黄灰色まで変異があるし、肢の腿節の色彩も黒色から黒褐色まで変異がみられる。成虫がどこで越冬しているかをたしかめるのも今後の研究課題である。また、卵から成虫までの経過も不明なので、今後も調査を進めていきたいと思う。

参 考 文 献

- KISHII, T., 1959. Elateridae of Is. Yakushima. The snappers of Island (I). *Bull. Heian High School, Kyoto*, (3): 1-24.
 ——— 1970. On the genus *Yukoana* and *Quasimus* from Japan. Some new forms of Elateridae in Japan (VII). *Ibid.*, (15): 1-28.

Elytra, Tokyo, 21 (1): 58, May 15, 1993

New Record of Staphylinid Species from Sadogashima Island

Yasuaki WATANABE

Laboratory of Entomology, Tokyo University of
Agriculture, Setagaya, Tokyo, 156 Japan

In the previous paper (WATANABE & BABA, 1981, 1986), 65 species of staphylinid beetles were recorded from Sadogashima Island off central Honshu, Japan. In the present short report, three unrecorded staphylinid species are newly added to the fauna of that island.

1. *Lesteva gracilis* Y. WATANABE
- 1 ♂, Shimokuchi, Ryōtsu-shi, Sadogashima Is., Japan, 25-V-1983, K. BABA leg.
2. *Philonthus numata* DVOŘÁK
- 1 ♂, Yoshiikongō, Sadogashima Is., Japan, 24-VIII-1985, K. BABA leg.
3. *Zyras optatus* (SHARP)
- 1 ♀, Mt. Myōken, Sadogashima Is., Japan, 20-VIII-1985, K. BABA leg.

References

- WATANABE, Y., & K. BABA, 1981. The staphylinid beetles of Sadogashima Island. *Trans. Essa ent. Soc., Kurokawa*, (52): 23-32. (In Japanese.)
 ——— & ——— 1986. Additional record of staphylinid beetles from Sadogashima Island. *Coleopterists' News, Tokyo*, (71); 3. (In Japanese.)